

事業名 **特別支援学級生活介助事業**

[0399]

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	子どもの可能性を伸ばす教育の充実	基本事業	教育内容の充実		
部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	市内小中学校の特別支援学級
意図	一人ひとりの教育的ニーズに則した指導の実現を図る。
	手段 特別支援学級を設置している小中学校に生活介助員(非常勤)を配置し、消耗品費用を配分している

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度予算	24年度予算	目標
対象指標1	市内小中学校の特別支援学級数	学級	29	30	33	37	
対象指標2							
活動指標1	生活介助員数	人	19	21	21	23	
活動指標2							
成果指標1	教職員(特別支援学級教員及び介助員)1人当りの特別支援学級在籍児童生徒数	人	1.72	1.85	1.96	2.1	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	37,878	39,923	37,424	40,672	0
正職員人件費(B)		千円	1,660	1,612	1,629	1,619	0
総事業費(A)+(B)		千円	39,538	41,535	39,053	42,291	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)
 特別支援学級において介助度の高い児童生徒が増加していることから、生活介助員の増員により対応します。

24年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持: 現状の目的や方法に変更がなかつた24年度実施する事業
- 見直し: 現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止: 22年度もしくは23年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規: 24年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			